

令和3(2021)年度実施 看護学部卒業生アンケート調査 報告

2021. 11. 05

【調査目的】

看護学部卒業した卒業生に、教育成果などについてアンケート調査を実施し、今後の教育改善に役立てることを目的とする。

【調査方法】

1. 期間：令和3（2021）年10月1日～10月31日
2. 対象：令和元（2019）年度に看護学部を卒業した卒業生
3. 方法：郵送による調査票の配付、Google Formによる回答

【調査回答】

1. 配付：令和元（2019）年度看護学部卒業生のうち就職先を把握している15名
2. 回答数：6（11月5日現在）
3. 回収率：40%

【調査結果】

I. あなた自身について

問1. 勤務先（種別）

①病院(20床以上) 一般病院	②病院(20床以上) 特定機能病院	③病院(20床以上) 地域医療支援病院	④病院(20床以上) その他の病院
4	2	0	0
⑤診療所 有床診療所(1～19床)	⑥診療所 無床診療所(0床)	⑦その他	
0	0	0	

問2. 現在の職業に満足しているか。

①満足している	②ある程度満足している	③あまり満足していない	④満足していない
3	3	0	0

問3. 今後のキャリアアップの希望

①ある	②ない
3	3

問3-2

大学院博士前期課程	大学院博士後期課程	認定看護師	専門看護師	特定行為研修
0	0	1	2	0
看護管理者	診療看護師	助産師	保健師	教育・研究者
0	0	0	0	0
その他				
0				

II. 大学教育とこれまでの経験との関係

問4. 資質・能力について、現在の職業や社会生活に役立っているか。(DP)

	① 役立 つて いる	るえ② ばど 役ち 立ら つか てと いい	なえ③ いば ど役 ち立 らつか てと いい	い④ 役立 つて いな
豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度	1	5	0	0
自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力	2	3	1	0
看護を必要とする人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力	1	5	0	0
地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力	1	3	2	0
看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けようとする力	2	4	0	0

問5. 資質・能力について、現在の職業や社会生活に役立っているか。(社会人基礎力)

	① 役立 つて いる	るえ② ばど 役ち 立ら つか てと いい	なえ③ いば ど役 ち立 らつか てと いい	い④ 役立 つて いな
物事に進んで取り組む力	2	3	1	0
他人に働きかけ巻き込む力	0	3	3	0
目的を設定し確実に実行する力	1	4	1	0
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	3	2	1	0
課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力	2	2	2	0
新しい価値を生み出す力	2	2	2	0
自分の意見をわかりやすく伝える力	0	4	2	0
他人の意見を丁寧に聴く力	1	5	0	0
意見の違いや立場の違いを理解する力	2	3	1	0
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	2	3	1	0
社会のルールや人との約束を守る力	4	1	1	0
ストレスの発生源に対応する力	3	2	1	0
絶えず相手の立場になって考えたり行動したりする力	2	3	1	0

問9. 総合的にみて、本学で学んだことについて満足しているか。

①満足している	②ある程度満足している	③あまり満足していない	④満足していない
2	3	1	0